

■ 第 1 回 芦屋市住生活基本計画策定委員会の振り返りと主な意見等

議事 1 芦屋市の住宅状況

【概要】

芦屋市の住宅状況について説明し、ご意見をいただきました。

【主な意見】

主な意見
・シーサイドエリアの今後の展望について、ニュータウン全般の現象として、同時期に同じような世代が分譲住宅に入居するため、一様に年齢を重ねて高齢化が同時に進む傾向がある。
・コミュニティの醸成という観点からも、数年単位ではなく長い時間軸での再生を考える必要がある。
・10年単位の長期の展望を見据えた施策も必要である。
・面的に若い人を一気に呼び込む施策と同時に、高齢化した地域に若い人が来て、地域に多世代がバランス良く混在できるような施策も検討してはどうかと思う。

議事 2 住生活基本計画と各個別計画の概要

【概要】

住生活基本計画と各個別計画の概要について説明しました。

議事 3 今後の策定スケジュール

【概要】

今後の策定スケジュールについて説明しました。

議事 4 各計画における主な取組の報告

【概要】

各計画における主な取組の報告について説明し、ご意見をいただきました。

【主な意見】

主な意見
・取組の評価について、統一された客観的な数値目標のような指標はなかなか設定しにくいのかもしれないが、取組評価をするのであれば一定の基準を設けた方が良い。
・マンションの耐震化について、耐震診断で耐震性がないことが判明した場合はその旨の説明が必要のため、資産価値が下がるのではないかと懸念から耐震診断を嫌う傾向がある。
・耐震改修を行うとなると、費用面や住民の合意形成などのハードルが高く、耐震診断がなかなか進まないのがマンションの課題である。

議事 5 市民アンケートの結果報告

【概要】

市民アンケートの結果報告について説明し、ご意見をいただきました。

【主な意見】

主な意見
・他県では空き家となった歴史のある建物を活用して地域の活性化につなげている事例もある。様々な活用の方法を空き家の持ち主の方に提案するのも良いのではないかと思う。
・他のまちから新しい人を呼び込むには、住宅の質の確保はもちろんのこと、子育て環境や教育環境、医療環境など、総合的にまちの魅力をつくることが重要ではないかと思う。 ・まんべんなく多世代がミックスしたまちづくりを進めることが重要である。
・賃貸の空き室も 3,000 戸程度あることも踏まえると、やり方によっては、若い人の手に届く住宅もあるのではと思うし、それをアピールしていくことが重要だと思う。 ・地域ごとの極端な差はなく市域全体が暮らしやすいまちになっていると思う。シーサイドタウンには、多くの緑も育っており、他市のニュータウンと違い鉄道駅からもそう離れていないのも強みである。